

授業コード	51F21
授業科目名	会計学総論 (A)(1クラス)(前)
担当者名	内藤文雄(ナイトウ フミオ)
単位数	4
開講期別	2014年度 前期
曜日・時限	水曜3限 水曜4限
特記事項	クラス指定
オフィスアワー	授業終了後30分程度、9号館508号室の研究室で対応する。 また、メールでの質問も受け付ける。その場合は、返信可能なメール・アドレスから、①学籍番号、②氏名、③返信用メール・アドレスを明記(①～③必須。記載のないメールには返信しない。)
授業内容	<p><講義の目的> 会計は「企業が行う事業活動を貨幣額で把握し、組織的な方法(複式簿記)にもとづき、認識、測定、評価し、その結果を集約・整理した情報(財務諸表)として利用者に提供する行為」である。会計は、企業経営にはなくてはならない重要なものである。 本講義は、会計がどのように企業経営に役立っているのかを理解し、受講生自らが会計を通じて作成される会計情報を用いて、企業を分析できるようにすることを目的とする。 本講義での学習は、受講生が2年次以降において学習する会計学関係諸科目の基礎理論の学習ともなる。</p> <p><講義の内容> 後述の講義構成をみる。講義する基本的な内容は、次の4点。 (1) 会計情報とは何か。どのような情報があるのか。 (2) 会計情報はどこから入手できるのか。 (3) 各自が入手した会計情報をどのように用いて企業を分析するのか。その手がかりを学習する。 (4) 分析して終わりではなく、分析結果をどのように企業経営に反映するのか。</p>
到達目標	<p>受講生が次の4点を理解または実施する能力を身につけること。 (1) 会計情報とは何か。どのような情報があるのか。 (2) 会計情報はどこから入手できるのか。 (3) 各自が入手した会計情報をどのように用いて企業を分析するのか。 (4) 分析結果をどのように企業経営に反映するのか。</p>
授業方法	<p>講義方法は、教科書および講義1週間前にMyKonanで配布する授業資料をもとに、必要に応じて板書で補足解説する。 企業の事業活動がうまくいっているのかいないのか、うまくいっていないとするとどこに問題があるのかなど、こういったことを検討し判断するために、会計の考え方や方法はとても役に立つ。講義では、この役立ちをできるだけわかりやすい事例を用いながら解説し、履修者各自が企業経営を検討・分析できるだけの基礎的な専門知識を講義する。</p> <p>授業は連続する2コマで実施するので、1コマ目は解説を中心とし、2コマ目は問題演習を中心とする。</p> <p>なお、会計＝計算＝数学なので「嫌い」という人が少なからずいる。しかし、お金の計算をすることだけが会計ではない。足し算、引き算、掛け算、割り算(これらを「四則演算」と呼ぶ。)ができれば、会計を理解することができる。また、簿記の知識があれば望ましいが、講義では、簿記の知識を前提とはしない。</p> <p>授業終了後、MyKonanの「小テスト」機能を利用し、「よくわかった専門用語3つ」と「よく理解できなかった専門用語とどの点でわからなかったか」を最大5つ記入してもらい、よくわからなかった専門用語については、一つずつ、回答・説明を記入したPDFファイルを作成し、授業資料として掲示する。このことにより、理解できなかった専門用語について理解を促進できるはずである。</p> <p>さらに、授業内容や授業の進め方についても「小テスト」機能により入力してもらい、次週の授業で、要望にできるかぎり対応し、授業の改善を行う。</p> <p>2014年度前期に、よく理解できなかった専門用語について、毎回、平均で約100語に対し、回答・説</p>

	明を行い(回答・説明内容をPDFファイルで授業資料として掲示)、授業に対する要望について、毎回、平均で約50の要望があったが、そのうち多数の要望について、改善した。
準備学習	本講義は、教科書と1週間前に配信する授業資料(空欄あり)を主に使用し、講義時の配布資料および板書により補足解説する方法で授業を進めるので、事前に教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 また、会計情報の入手方法を解説したのち、各自で、各自が選択した上場会社の会計情報をインターネットからダウンロードし、そのハードコピーを持参してもらう。これは、受講生自らが独自で会計情報を入手することができるようにするためである。
成績評価	期末試験85点満点およびMyKonanで解答する小テスト15点満点(1回1点、15回15点)によって成績を評価する。 会計を学習するうえで、基礎的なことがわからなければちんぷんかんぷんになってしまうので、連続2コマの授業では、1コマ目に解説をし、2コマ目は知識確認のため、さまざまな角度から解説内容に関する練習問題を受講生に解いてもらう。 また、MyKonanでの小テストは、授業終了後から授業日の23:59までの間に、「その日の授業でよく理解できた専門用語3つとよく理解できなかった専門用語」を10分以内で解答してもらうもの。「よく理解できなかった専門用語については、一つ一つについて回答・説明を加え、授業終了後、3日以内にMyKonanに掲示する。 なお、出欠をチェックしない。出席状況は、期末試験の成績に直接反映されると考えられるためである。
欠席基準	期末試験を受験しない場合、および、期末試験を受験しても、授業妨害行為(私語、遅刻・中途退席、不要な立ち歩きなど)が著しく、注意をしても改善しない場合には欠席として扱う。
授業構成	下記の各テーマにつき、1テーマ=2コマ連続授業で解説を行う。 1 オリエンテーション「経営学と会計学」 2 会計学と財務情報(1)「会計学の学び」 3 会計学と財務情報(2)「ディスクロージャー制度」 4 会計学と財務情報(3)「有価証券報告書・アニュアルレポート」 5 財務諸表の構成(1)「貸借対照表」① 6 財務諸表の構成(2)「貸借対照表」② 7 財務諸表の構成(3)「損益計算書」① 8 財務諸表の構成(4)「損益計算書」② 9 財務諸表の構成(3)「キャッシュ・フロー計算書」 10 財務諸表分析による企業分析(1)「収益性分析(ROA・ROE)」 11 財務諸表分析による企業分析(2)「収益性分析(CVP)」 12 財務諸表分析による企業分析(3)「成長性分析(増加率)」 13 財務諸表分析による企業分析(4)「成長性分析(健全性)」 14 財務諸表分析による企業分析(5)「安全性分析(静的・動的・CF)」 15 期末試験
教科書	内藤文雄、『会計学エッセンス』、中央経済社、2013年、第1章～第13章を使用する。
参考書・資料	講義の際、必要に応じて財務情報や非財務情報等の資料を配布する。
授業関連事項	授業は、指示を守り、静粛に受講すること。私語が著しく、注意喚起しても改善しない場合には、座席指定を行う。なお、授業妨害行為(私語、遅刻・中途退席、不要な立ち歩きなど)が著しく注意をしても改善しない場合には期末試験を受験しても欠席として扱う。
担当者から一言	企業経営を正しく理解するためには会計の知識が必須です。2年次以降において学習する会計学関係諸科目の基礎となる授業科目ですから、将来の学習のためにも積極的に学習してください。 また、2年次以降に会計学を専攻しない学生であっても、企業をみる眼を身につけてもらい、たとえば、就職活動に際しても、皆さん一人一人が収益力や成長性が高く、かつ安全性の高い企業を選択できるだけの知識と方法を学習します。このことは、甲南大学経営学部の卒業生としてその質を確保することをねらっています。
その他	新聞、雑誌、テレビ、インターネット、その他のメディアを利用して、企業に関する情報を入手するためのアンテナをしっかりとっておくことは有益なことから、普段の生活において習慣づけるようにしてください。
ホームページタイトル	
URL	